

# 面白き麥稈細工

東京女子高等師範學校訓導 藤 五代 策

私は一昨年(わたくし さくねん)の夏期(かき)フレーベル會(くわい)の囑託(じゆたく)を受けて

幼稚園(ようちえん)に適切(てきせつ)なる手工(しゆうこう)講習會(かうしゆかい)を開き(ひら)きました、細工(さいこう)の種類(しゆるん)は普通(ふつう)の粘土(ねんど)細工(さいこう)、豆細工(まめさいこう)、紙細工(かみさいこう)の外綿(ほかわた)細工(さいこう)、麥稈細工(むぎわらさいこう)の五種(ごしゆ)を實習(じっしゆ)しました、其(そ)の最後(さいご)にある(あ)る麥稈細工(むぎわらさいこう)は、實(じつ)に私(わたし)の新研究(しんけんきゆう)にかゝるので幼稚園(ようちえん)の室内(しつない)裝飾(しやうじ)としては、最(もつ)簡單(かんたん)にして併(し)かも教育的(けういくてきか)價值(ちやくち)も尠(すくな)からぬ様(やう)である(あ)るから、左(さ)に其(そ)の製作法(せいさくはふ)をお話(わ)申(ま)上げて、諸君(しよくん)の御研究(ごけんきゆう)を願(ねが)ひたいと思(おも)ひます。

一、材料(ざいりやう)成(な)るべく節間(せつかん)の長(なが)い種々(しゆく)に着色(ちやくしやく)したる(した)る麥稈(むぎわら)。

(ロ)二十四番(にじゅうはん)の亞鉛(あたんび)引き針金(はきがね)。

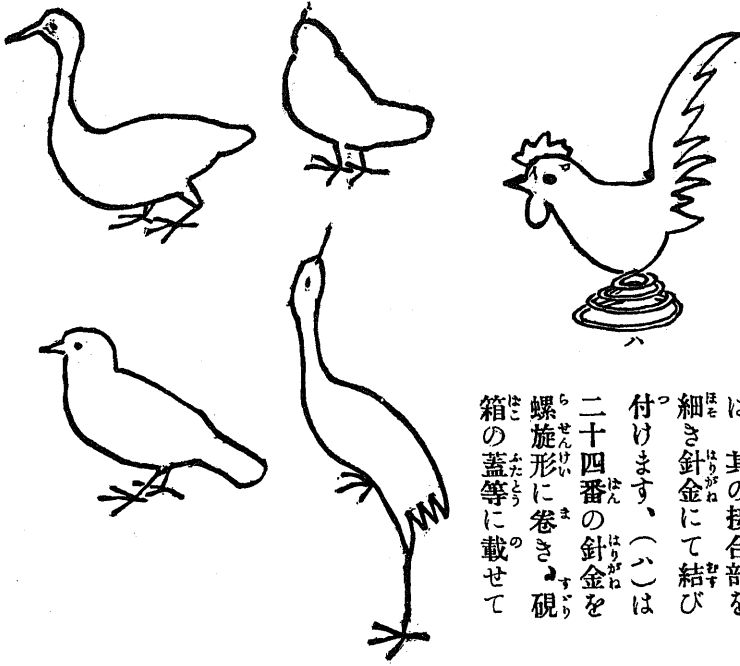
(ハ)最(もつ)細(こ)き針金(はきがね)。

二、工具(こうぐ) 工具(こうぐ)は喰切(くひきり)若(わか)しくは木鋏(きはさ)一挺(いちてう)にて足(た)れ

り。

三、製作法(せいさくはふ)。

左圖(さづ)の如(ごと)に雞(に)を製作(せいさく)せんには、先(まづ)隨意(じゆい)の着色(ちやくしやく)麥稈(むぎわら)を、十五分(じふごふん)間(かん)ばかり清水(しみず)に投(な)げ、尙水(なほみづ)を去(さ)りたる後(のち)も濕(うる)へる布(ぬ)に包(つ)みおけば、麥稈(むぎわら)は常に濕氣(しつげ)を帶(お)びて曲(ま)ぐるに便利(べんり)であります、其(そ)の心(こゝろ)に二十四番(にじゅうはん)の針金(はりがね)を通(とほ)します、(此(こゝろ)は麥稈(むぎわら)を自由(じゆう)に曲(ま)ぐるためです)以上(いじやう)の準備(じゆんび)が整(ととの)いましたらば、次(つぎ)には雞(に)の形狀(けいじやう)に於(お)ける特長(とくちやう)を作出(さくしゆつ)することが肝要(かんえう)であります雞冠(けいかん)あること、胴(どう)の稍卵形(やうらんけい)なること、尾羽(びう)の高(たか)く上(あ)げること等は(とう)其(そ)の主(おも)なる特長(とくちやう)でありますから、其(そ)の特長(とくちやう)をば飽(あ)くまで失(う)はざる様(やう)に、麥稈(むぎわら)を曲(ま)げて輪廓(りんかく)を作(つく)るのであります。



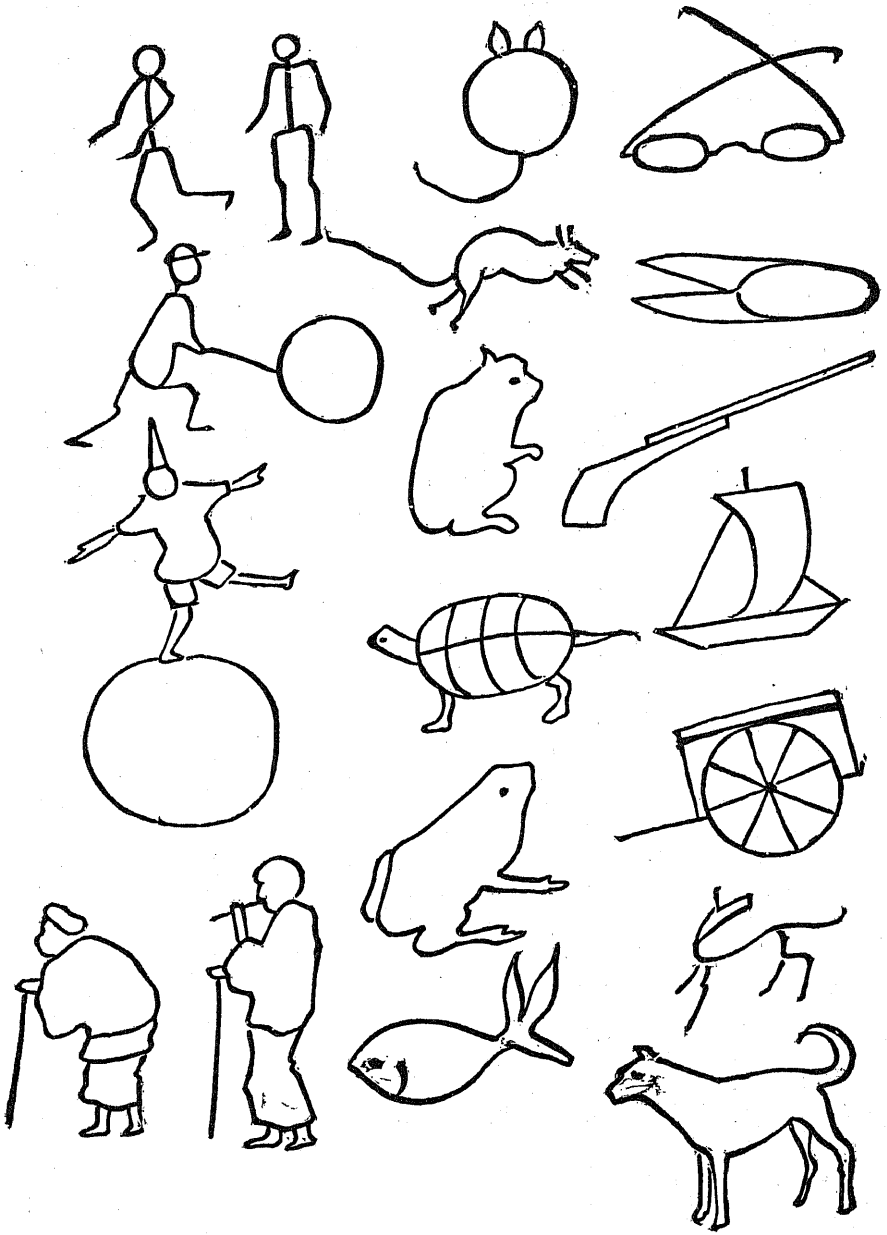
(イ)(ロ)の如く別の麥稈にて雞冠部を作るとき

は、其の接合部を細き針金にて結び付けます、(ハ)は二十四番の針金を螺旋形に巻き、硯箱の蓋等に載せて

移動せしむるのであります。同様の製作法にて牝雞、鶴、水鳥、小鳥等随意のものを作ることが出来ます。

尙左に器物、諸動物、人物等の例を掲げておきますから、研究してご覧下さい。

以上述べました通り、麥稈を曲ぐることによりて、極めて簡単に諸物體の形狀を模せらるゝのであります。此の輪廓の模造法は、圖書科と關聯して、物體の觀察を精密ならしむる一方法であります。吾々が物體を見るには、空間と先づ物體とが何う形をして居ると云ふことを見るのが最も肝要なことであります。即ち其の物體の細微の點に注意しないで所謂大體の形が如何様な形をして居るか云ふことに注意するのであります。幼稚園の稚兒や小學校の初學年の兒童は殊に此の傾向を有して居るのである、夫れがだん／＼と高學年に進むに従ひ、物體の局部に亘りて精細に觀察する様になり



ます、兒童に大體の形をハッキリ印象させるために、其の描畫の内部を墨で眞黒に塗り潰す方法は、シルエツト法 (Silhouette) と唱へて圖畫科に於て最大切なる事柄であります、或は輪廓線のみで物體の形狀を描き見はす方法もあります、我邦には古來より後者の方法最よく發達せるもので、彼のシルエツト法と同様に、教育的價値を有するものであります。

## はなしやうぶ

はなしやうぶ(花菖蒲)の花は其萼花冠雄蕊雌蕊は各三の數からなつて居ます 即萼は臣の最外部となつて大形をして恰も花瓣の様な形をして居ります、此萼と互生して居る花瓣は模形的の花では萼より著しく小さくて鈍頭であります、色は萼と

此の麥稈の輪廓法は、實に輪廓畫の方法を麥稈に代へたるものであつて、頗る教育的價値を有せるものであります。且つ普通の紙類や布類で製作した裝飾品は、汚穢せしとき水で洗ふことが出来ませんが、此の麥稈細工は幾度でも水で洗ふことが出来ますから、何時までも光澤を失ひません、季節は恰も麥稈を抜き取るによい時でありますから必一應御實驗を願ひたいのであります。

東京女子高等師範學校助教

保井コノ

同様であります、それで植物の方では此萼と花冠とをまとめて花蓋と申しますから萼を外花蓋花瓣を内花蓋と申します、外花蓋に對してまた花瓣様なものがあります是が雌蕊の上部であります雌蕊は下生子房を持つて居ますが其上部は花蓋と同様の色